

市丸 消防団員の減少についての認識は。
答弁 全国的な課題であり、多久市においても、団員の確保が困難な状況は同様であると認識をしています。

市丸 空調設備の整備までの間、校舎を避難所として活用できないか。
答弁 体育館のみならず、避難者の体調に応じて多目的室や特別教室、保健室などでの避難者の受け入れを想定していますので対応可能です。



市丸 団員数の確保が喫緊の課題ではないか。
答弁 地域における安心と安全を確保するため、地域と危機意識を共有しながら、行政としても支援できる部分はしっかりと支援をしながら、地域と一体となる仕組みづくりを構築していく必要があると考えています。

市丸 熱中症対策として、体育館の避難所には空調設備が必要なのは。
答弁 現在スポットクーラーと大型扇風機を配置し、対応しています。今年暑さを考えますと、補助事業などの活用を含め、検討はしていく必要があると認識しています。

市丸 多久市の災害備蓄品の備蓄の状況は。
答弁 人口の5%の3日分の食料を県と連携して備蓄しています。具体的には飲料水1,768リットル、保存食3,071食、パン2,784食などを備蓄しています。

多久市の防災について



市丸勝義 議員

す。また今後、団員が減少することにより、火災時における出動体制に影響をしてくるので、組織の再編も含めて検討していく時期にあると考えています。

通称「地域計画」について



鷲崎義彦 議員

鷲崎 地域計画と必要性を含めた評価について、地域計画のモデル地区と進捗具合はどうか。
答弁 市内6地区のうちモデル地区は、納所・東多久・多久町の3か所を計画し、現在目標地図作成に取り組んでいる。農業委員会の作成した素案を基に令和5年12月～1月頃に関係機関で協議を進めます。

鷲崎 その評価は。
答弁 10年後の農地を誰が担うのか等の計画を、関係機関・各種会議を通じて協議し、令和6年度末までに策定します。

整備済み公園の整備目的と目的達成度評価について

鷲崎 住みたい町・子育てしやすい地域づくりを目指す中で、公園も遊具もない地域があります。公園のない地域での公園整備はどう考えているのか。
答弁 既存の公園整備維持を中心に、充実をはかっています。新たな公園の整備は現在考えていません。



令和5年 9月定例会

令和5年9月市議会定例会は9月1日から9月25日まで（会期25日間）開かれました。今回は8人の議員が市政一般に対する質問を行いました。9月定例会では、市長から提出されました議案22件（条例5件、予算4件、決算9件、その他4件）の議案について審査し、いずれも原案どおり可決したほか、意見書1件を可決しました。

議案質疑

提出された議案について、議案の提出者（市長か議員）に対して、議案の内容や提案の理由などについて疑問点や不明な点を尋ねること

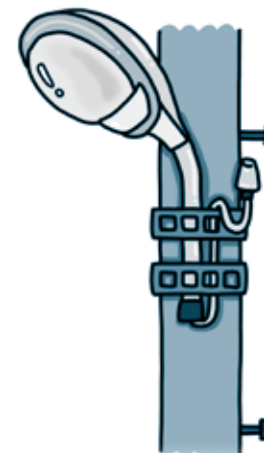
古賀 公彦



(令和4年度決算について)
 ■防犯灯設置補助金について

- Q 事業の詳細は。
- A 自治会等が防犯灯を設置、またはLED化する場合に、その設置に要する経費の一部を補助する事業です。助成額は、支柱込みの新設で4万円、電柱等への新設で2万円、LEDへの交換で1万円が上限となっています。
- Q 防犯灯の要望件数は、また予算を超えた場合にどうされているのか。

- A 申請件数が46件、そのうち補助件数が27件です。予算を超える申請については次年度での再受付を行っています。
- Q 令和5年度についてさらなる増額の検討はできないか。
- A 令和5年度については10万円を増額し、50万円を予算計上しているところです。



香月 正則



(令和5年度9月補正予算)
 ■鉱害対策費の鉱害施設維持管理に要する経費について

- Q 収入が鉱害復旧費受託事業となっているがなぜか。
- A 今回の復旧事業が現地調査の結果、特定鉱害復旧事業として認められたことから、復旧に係る費用は、全額特定鉱害基金の管理をしている佐賀県農業公社が負担することとなり、市が受託して事業を行うこととなります。

- Q 復旧工事の詳細は。
- A 陥没孔及び陥没孔の周囲に直径2.3メートル、約5センチ程度の沈下を確認しています。工事は、深さ約1メートル機械で掘削して、幅3メートル、厚さ25センチ程度のコンクリート床版を設置し、埋め戻す計画としています。
- Q 今後同様なケースの場合にどのように対策を取っていくのか。
- A 土地所有者に注意喚起を行い、速やかに復旧工事をしたいと思っています。また陥没についての啓発にも努めていきます。